

# 日本と韓国の若者言葉

## ——構造と造語法による分類を中心に——

金 曠 泳\*

### 1. はじめに

言語は変化する。新しい言葉が生まれる一方で消えていく言葉もある。このような変化する言語環境の中で特に「日本語の乱れ」とも言われている言語現象が存在するが、それは若者言葉である。また、そのような事情は韓国でもあまり変わらない。本稿では、このような日本の若者たちの流行語である若者言葉の造語法の特徴を韓国の若者言葉(급식체 グッシクチェ (給食体)とも)と比較・対照しながら詳しく分類し、その発生の原因及び傾向に関して考察を行いたい。

### 2. 先行研究と問題提起

#### 2.1 若者言葉の定義

井上史雄(1988:562), 米川(1996, 2000b, 2009), 小矢野哲夫(2006)など、先行研究における若者言葉の定義をまとめると、「若者言葉は個人差はあるものの主に10代前後から30代前後に至るまでの若い世代の集団が使う言葉であって、集団語のような性格も持っている」と言えよう。しかし、実際に若者言葉は必ず若者だけに使われるわけでもなく、一般にも広く知れて年配の人々も使うようになった若者言葉も少なくない(e.g. ウザイ・KY等)。このような点から、若者言葉は主に若者が使う言葉ではあるが、その使用が必ずしも若者に限定されないし、だからといっ

て全ての若者が必ず使う言葉でもないことが分かる。よって、ある言葉が若者言葉であるための最低限の条件を絞ると、「若者の間で流行り出した言葉。但し、若者は10代後半から30代前後の人を言うが、個人差が認められる」と言えよう。また、このような若者言葉は一般における流行のほどによって「一般に広く知られていない若者集団の言葉」と「一般に広く知られた若者集団の言葉」に分類できると思われる。

#### 2.2 その他

若者たちが若者言葉を使う時の心理や態度の他、若者の仲間意識など、使用層である若者に焦点を合わせた研究には、瀬沼文彰(2005)・中村功(2005)などが詳しい。その中で瀬沼(2005)は、若者たちが若者言葉を使う理由を彼らの「聞き下手な態度」と「笑いを意識した態度」から見いだと述べている。続いて、主に村田(2005)・井上俊輔他(2008)・桑本(2013)など、若者言葉の意味とその機能に着目した研究も見られる。その他、小矢野(2007)・鈴木(2010)など日本語教育という側面で若者言葉に関する考察を行った研究や福原(2013)・林(2007)・朽方修一(2013)の「～みたいな」「っていうか」「ってば」など、それぞれ個別の若者言葉に関して考察を行った研究も見られる。

そして、若者言葉を色々な基準に沿って分類し、その特徴を明らかにした研究も多く見られるが、その中でまずその定着のほどから若者言葉を四分類した井上史雄(1994)が最も参考になる。井上(1994)は一時的に流行してなくなっていく若者

\*同徳女子大学准教授

言葉を「一時的流行語」とし、世代を受け継いで使われるキャンパス言葉や学生語等を「若者世代語」とした。また特定の世代しか使わない流行語等を「コーホート（同世代）語」とし、最後に新語や新方言として確立した言葉を言語変化、つまり「新語」とした。続いて、特定の若者集団によって若者言葉を分類した研究があげられるが、小矢野哲夫（1994）は女子大学生のキャンパス言葉を、原田（2013）は一橋大学生のキャンパス言葉を中心に考察を行うなど、主にキャンパス言葉に関する研究が多数を占めている。一方、井上逸兵（2006）などはネットを利用する若者による言葉を「ネット社会の若者ことば」と定義し、それに関して考察を行った。

最後に、若者言葉をその造語法によって分類した研究があげられるが、例えば、米川（1998）では若者言葉を造語法などによって(1)ように分類していて、米川（2000a）では若者言葉の言葉遊びとしての特徴を以下の(2)のようにあげている。

- (1) [若者言葉の造語法]
- a. 借用                      b. 省略                      c. 倒置
  - d. 読み替え                e. 言い換え
  - f. 頭文字化                g. もじり
  - h. 語呂合わせ            i. 混交
  - j. 動詞の派生              k. 名詞の派生
  - l. 形容詞・形容動詞の派生
  - m. 動詞の複合              n. 名詞の複合
  - o. 音の転化                (米川1998：50-64)
- (2) [若者言葉の言葉遊びとしての特徴]
- a. 語呂合わせ（いただきマンモスなど）
  - b. もじり（アリラー（くアムラー）など）
  - c. 読み換え（だつりきく（脱力）など）
  - d. 言い換え（ホワイトキック（くしらける）など）
  - e. 漢字の分解による（彦頁（く顔）など）
  - f. 頭文字化  
（MMK（くもててもててこまる）など）
  - g. なぞなぞ式しゃれ  
（ネズミしばく（=ディズニーランドに行く）な

ど）

- h. 形容に基づく転義  
（バーコード（頭が禿げた）など）
- i. 人にたとえる（聖子ってるなど）

米川（2000a）

今まで先行研究における若者言葉の造語法は上記の(1)と大差はないが、その中でも方韻（2013）は若者言葉における古語の借用（e.g. いとおかし=非常におかしい）などを指摘し、松田（2006）と井上（2006）はそれぞれネットにおける新しい若者言葉の造語法（e.g. ネット方言：漏れ=俺）に関して考察を行うなど、新しい造語法を取り入れつつある。

### 2.3 問題提起

今までの若者言葉の造語法に関するほとんどの先行研究は、上記の(1)を含め、省略（縮約）・派生など、「形式」を基盤とする造語法（e.g. 動詞派生：体言+ル、神る）と、転義・もじりなど若者の集団内で共有する「情報」を基盤とする造語法（e.g. Bダッシュ、あか<sup>1</sup>）を区別せずに羅列している。しかし、稿者は若者言葉の造語法を考察する際にして、このように両造語法を同じカテゴリとして括って扱うことには問題があると考えている。何故なら、若者言葉は「情報」と「形式」という二つの層位からなっていて、両者が混在しているようにも見えがちだが、その位相においてはお互い異なる点が存在しているし、どの層位から若者言葉が作り出されたかによって区別できるからである。詳しくいうと、若者集団内で生まれて共有される概念或いは発想が「情報」になり、それが特定の「形式」に乗せられ、やがて実体を持つ「若者言葉」になる。問題はその時、「情報」が主になって「形式」に発展する場合（或いは「情報」のみ、e.g. ロールキャベツ<sup>2</sup>、핑거 프린세스<sup>3</sup>、フリンセス、ンガー・フリンセス<sup>3</sup>）と、「形式」から「情報」が生まれる（或いは「形式」のみ）場合（e.g. 「ナL、ナニレ、」=けいたい、「언시1」=언니<sup>オンニ</sup>（姉さん）という二通りが存在する点にある。本稿では前者

を「コンテキスト」の造語法と、後者を「語構成」の造語法とする。

従て、米川 (1998) では(2)bの「アリラー」を上記の(1)gの「もじり」に当たると分類したが、「アリラー」は「アムラー」という既存の若者言葉に対するパロディーだという「情報」を基盤とした言葉であって、「コンテキスト」の造語法による若者言葉であると分類できる。つまり、若者の集団内で共有する「情報」が「形式」を招いた「コンテキスト」優先の造語法なのである。しかし、「アリラー」を派生させた「アムラー」という語は、元々「体言+ラー・ダー」といった英語の語形成の「形式」が「体言に当たる何かをする人或いは好きな人」という意味を表すという「情報」になって若者の間でそれが共有されて作られた言葉で、(1)kの「派生・名詞派生」のような若者言葉の造語法、つまり「語構成」の造語法に分類できる。ちなみに、本稿ではこれを「付けたし」と分類したが、詳しくは後節で述べることにする。

一方、若者言葉が生まれるに際して「コンテキスト」と「語構成」は、それが現れる「媒体」(e.g. ポケベル、パソコン、スマホ、SNS、口語)による影響も受ける場合がある。例えば、「アップロード・up」のキーボード誤入力によって生まれた「うp・うぷ」、[체발<sub>ゼバル</sub>]の誤入力である「쩨라<sub>ゼラ</sub>]や携帯メールで見られるギャル語の「オヤス多：おやすみ」、スマホで見られる「ロス<sup>4</sup>]などの若者ことばは「媒体依存的」であるといえよう。

最後に、今までの先行研究には最近のネット用語・オタク用語など特定の趣味の集団語で見られる若者言葉における新しい造語法に関する考察もあまり行われておらず、このような新しい造語法における考察も必要とされる。従って本稿では、先行研究を踏まえて、「コンテキスト」と「語構成」の造語法を中心として「媒体」という側面も考慮しながら日本と韓国の若者言葉の造語法を再検討したい。

### 3. 調査資料

本研究では現代日本の若者言葉をその生成方法によって細かく分類して、それぞれの造語法の特徴を明らかにするために、口語的な性格が強くて若者言葉の出現頻度が高いと思われるテキストを調査対象にした(以下の(3・4)参照)。

#### (3) [調査対象—日本語]

- a. KOTONOHA「現代日本語書き言葉均衡コーパス」少納言
  - 1)「Yahoo!知恵袋」(2005)
  - 2)「Yahoo!ブログ」(2008)
- b.「Yahoo!知恵袋-みんなの知恵共有サービス」
- c.「現代用語の基礎知識」
- d.「日本語俗語辞典」
- e.「若者言葉辞典～あなたはわかりますか?～」 <http://boresound.blog133.fc2.com>
- f.「実用日本語表現辞典」
- g.「早稲田大学キャンパス言葉辞典」(1997)
- h.その他(インターネットのブログ、ウェブページなど)

#### (4) [調査対象—韓国語]

- a. 国立国語院「21世紀世宗計画コーパス」(現代口語「画面のある放送・画面のない放送」、現代口語「その他の録音」)
- b.「Naver-知識iN」 <http://kin.naver.com>
- c.「Naver-知識iN・オープン辞書—流行語・新造語」「韓国語辞書—俗語・若者言葉」など、ネットを基盤としている若者言葉辞典類
- d.その他(新聞二社(朝鮮日報、ハンギョレ新聞)、インターネットのブログ、ウェブページなど)

### 4. 本論

若者言葉には上記の(2)のような言葉遊びの要

素が見られる点、曖昧な表現が多い点（桑本、2013：69）など、色々な特徴が見られるが、稿者は若者言葉の特徴として何より「不透明性」をあげたい。ここでいう「不透明性」とは、桑本（2013：69）による「隠語性<sup>5</sup>」と似通った概念で、その背景になる文脈に関する知識なしに人が初めて接する語彙の意味を把握できる度合いを指すものである。詳しく言うと、若者言葉は一般的な語彙とは異なって若者の集団内或いは世代内で流行る言葉であって、よそ者にとってはその意味がまったく分からない、つまりその意味が一般には「不透明」である。このような若者言葉の意味における「不透明性」は、2.2節で述べたように、基本的に集団語的な性格、つまり若者言葉を構成する二つの主な構造である「コンテキスト」と「語構成」から由来したもので、以下の(5)b・dのような集団語の特徴を見れば理解できる。

(5) [集団語の特徴]

- a. 各集団ごとの語の志向が異なる。たとえば犯罪者は隠語指向など。
- b. 一般語にあまりない造語法で語を造っている。
- c. 同義語が多い。
- d. 狭い範囲にのみ通じる言葉が多く、ヨソ者には分からない言葉である。
- e. ヨソ者が知って使用することで通ぶることができる。
- f. 古くからある集団は和語・漢語を用いることが非常に多いが、新しい集団は外来語や頭字語を用いることが多い。
- g. 専門語を除けば、集団語は多く俗語に属する。

米川 (2000b)

4.1 「コンテキスト」と「語構成」の造語法

それでは、若者言葉の意味を「不透明」にする「コンテキスト」と「語構成」とは具体的にどのようなものであろうか。若者言葉の意味における

「不透明性」はまず若者の集団内のみで共有している固有の概念、発想、また背景知識などの情報から由来するもので、本稿ではそれに加えて、言語遊戯などわざと若者言葉にしようとする意思や方法までも若者言葉の「コンテキスト」と呼ぶことにする。また、今までなかった或いは一般に知られてない「語構成」にも若者言葉の「不透明性」をさらに増大させる特徴がある。場合によっては「コンテキスト」より、仮名表記・縮約・付けたしなどの「語構成」によってより若者言葉における「不透明性」が高まることもある（e.g.MK5：「マジでキレル5秒まえ」の略語、ASKY：「안생겨요<sub>ァンセンギョヨ</sub>」の略で「どうせ恋人が出来ないよ」という意味）。

本節ではこのような「語構成」と「コンテキスト」の造語法の類型を順次にあげながらそれぞれの造語法の特徴を明らかにする。

4.1.1 語構成の造語法

4.1.1.1 音の転換—①<sup>6</sup>

若者言葉には若者の集団、例えばキャンパス（e.g. 中学・高校・女子高・大学など）、趣味の集団（e.g. スポーツ・娯楽、アニメ、パソ通、ネット、オタクなど）などのメンバー同士の会話で流行っている言葉が多くて、基本的に口語的な性格が強い。よって、若者言葉には口語体に見られる音の転換がよく見られる。

(6) [音の転換—促音便化] 一日本語

- a. ちっさ・ちいさっ：小さい＋っ

(7) [音の転換—エ・イ音便化] 一日本語

- a. ア行：エ行音＋エ  
e.g. ちいせえ：小さい 2) はええ：はやい
- b. ウ行：イ行音＋イ
- c. オ行：エ行音＋エ
- d. 濃い：い行音＋イ

1) こいい、\*けえ：濃い

(8) [音の転換—長音化] 一日本語

- a. ちいさー：ちいさっ b. はやー：はやっ

- (9) [単子音化, 単母音化, 腹母音化] —韓国語  
 a. 腹子音の単子音化, 腹母音の単母音化  
 e.g. 괜찮아 ゲンチャンア (大丈夫) : 괜찮아 (い  
 →ㄴ)  
 e.g. 괜찮아 : 괜찮아 (ㅈ→ㅈ)
- (10) [連音法則<sup>7</sup>など音韻現象の表記化] —韓国語  
 e.g. 괜찮나 ゲンチャナ (大丈夫)  
 : 괜찮아 ゲンチャンア (い→ㄴ, ㄴの移動)
- (11) [頭音法則<sup>8</sup>の無視] —韓国語  
 e.g. 린정 リンジョン (認定・認める) : 인정 インジョン

#### 4.1.1.2 表記の転換—②

##### 4.1.1.2.1 ②表記の転換—文字

- (12) [表記の転換—文字] —日本語  
 a. とくに：特に      b. オレサマ：俺様  
 c. なう：ナウ・Now  
 d. 炉利：ロリータコンプレックスの③縮約  
 「ロリ」
- (13) [表記の転換—文字] —韓国語  
 a. 브금 ブグム : BGM (背景音楽)

##### 4.1.1.2.2 ②表記の転換—媒体 (技術) 依存

今まで「書き言葉」と「話し言葉」のような分類ができたとすれば、これからはこれに加えて「打ち言葉」という新しい概念を導入しなければならないのではないかと思う。最近ではIT技術の発達によって従来の「書く」という行為はキーボードなどによる「打つ」という行為に変化している。また、このような「打ち言葉」は従来の「書き言葉」と「話し言葉」の両側面を持ち合わせていて、そのような特徴が最も多く見られるのが「若者言葉」である。日本語の場合、仮名と漢字の変換から生まれる媒体 (技術) 依存的な表記の転換が多く見られるが、日本語とは異なって単音文字である韓国語のハングルの場合、キーボード入力の際にして行われる文字の組み合わせにおいてこのような表記の転換が多く見られる。

- (14) [表記の転換—媒体の変化・技術依存] —日本語  
 a. チャス多：おやすみ, ギャル語  
 b. うp : upの誤入力, ネット用語  
 c. 厨房：中学生である中坊の誤変換  
 d. 生姜繊維：三国志の登場人物である「姜維」, 漢字の一発変換が困難
- (15) [表記の転換—文字] —韓国語  
 a. 젍라 ジェッタ (頼む) : 제발 ジェバル  
 b. 고나리 ゴナリ (管理) : 관리 カンリ, 小言を言う。  
 拡張—④とも。

#### 4.1.1.3 縮約—③

- (16) [縮約] —日本語  
 a. 升：チート, チートの縮約である「チト」の伏字  
 b. メット：ヘルメット → 上略  
 c. しょんどい：正直しんどい → 語句の縮約, ②表記の転換とも  
 d. KS : 既読スルー, Kitoku Suru, メッセージを読んだのに返事しないこと → 語句のローマ字の頭文字, KY語, ②表記の転換とも
- (17) [縮約] —韓国語  
 a. 솔까말 ソルカマル (正直に言って) : 솔찍히 까놓고 말해서, 語句の縮約  
 b. ASKY : 안생겨요, An Seng Kyo Yo (どうせ恋人が出来ない)  
 c. 스 スイウンジョット (認定・認める) : 인정 インジョンの子音のみ

#### 4.1.1.4 拡張—④

- (18) [拡張] —日本語  
 a. ネ申：神, 分解・破字  
 b. タヒ・死：死, 「死」の一部を③縮約してから, それを分解・破字
- (19) [拡張] —韓国語  
 a. 머리 モリ (頭) : 대리 デリ (代理)  
 b. 빠박 켄트 ペバクケンツ (八方ふさがり) : 뽀도

박도 못하다 Can't, 一部の拡張

- c. 전설의 레전드<sub>ジョンソルエ・レジェンド</sub>  
 : 전설 (伝説) 의 Legend (レジェンド),  
 同意語の繰り返しによる拡張
- d. 고마워요 : 고마워 (ありがとう) + O, 子音の拡張, ②表記の転換—媒体の変化・技術依存とも

○○をする人, ○○のような人, ○○が好きな人などの意味,

- 1) 댓글리<sub>デッグルラニ</sub> (スレッド・リプライを書き込む人)
- c. ○○+각 (角) : ~になる可能性が高い或いはそれと同然という意。  
 e.g. 고소자<sub>ゴソガク</sub> : 当然に訴えられる状況。

#### 4.1.1.5 再配列—⑤

- (20) [再配列] —日本語
- a. ワンフー : ファン, ⑤再配列+①音の転換—長音化とも
- (21) [再配列] —韓国語
- a. 모히또 가서 몰디브 한 잔 : 몰디브 가서 모히또 한 잔, 若者の文化—⑭とも  
 모히트に行って, 몰디브を一杯しよう : 몰디브に行って, 모히트를一杯しよう。

#### 4.1.1.6 付けたし—⑥

- (22) [付けたし] —日本語
- a. バイブス+○○ : とても・最高にの意, 2013年ギャル流行語トップ10で一位, 接頭  
 e.g. バイブス+高い : ものすごく高い
- b. 安定の+○○ : ○○のであれば失敗しなく満足な結果を見せる, ○○+安定とも言う, 接頭・接尾  
 e.g. A : 週末何する。B : 安定の原宿。
- c. ○○+ア段音+一 : 英語の「~er, talk : talker」のよう, ○○をする人, ○○のような人, ○○が好きな人などの意味, 主に「ラー」を付けたすが語末の子音によって変わる, 接尾, ⑭若者の文化とも
- (23) [付けたし] —韓国語
- a. 핵<sub>ヘク</sub> (核)・개<sub>ゲ</sub> (犬) など+○○ : 「とても」の意, 接頭, e.g. 핵+짬<sub>ジエム</sub> (面白い) : とても面白い
- b. ○○+ㅏ : 英語の「~er, talk : talker」のよう,

#### 4.1.1.7 派生—⑦

##### 4.1.1.7.1 ⑦派生—動詞派生

- (24) [派生—動詞派生] —日本語
- a. トリる : KFCへ行く, KFCで販売しているチキンを⑨言い換えたトリ (鳥) +る
- b. 디스る : 非難する, disrespectの⑨言い換え・③縮約したディス+る

##### 4.1.1.7.2 ⑦派生—形容詞派生

- (25) [派生—形容詞派生] —日本語
- a. ナウい・ナウな : 今風な, nowの⑨言い換えであるナウ+い・な
- b. 神ってる : とてもすばらしい, 神の⑦派生—動詞派生である神る+ている

#### 4.1.1.8 段階・繰り返し—⑧

- (26) [段階・繰り返し] —日本語
- a. 激おこぷんぷん丸 : 怒りをその程度によって6段階に分類, 怒りの六段活用とも, ③縮約・⑨言い換えとも。  
 e.g. おこ → マジおこ → 激おこぷんぷん丸 → ムカ着火ファイヤー → カム着火インフェルノーオオオオオウ → 激おこスティックファイナリアリティぷんぷんドリーム

#### 4.1.1.9 言い換え—⑨

- (27) [言い換え] —日本語
- a. ホワイトキック : しらける, 「しら」と「ける」に分けて直訳

## (28) [言い換え] —韓国語

- a. 엄크<sub>オンク</sub>: 엄마<sub>オンマ</sub> + 크리티컬 (Critical), 母親の目を盗んでゲームなどをして遊んでいる最中に母親が部屋に入ること。
- c.f. 닳넌<sub>ナットニンゲン</sub>: 닳 (not) + 닳넌<sub>ニンゲン</sub> (人間), 出来すぎて人間ではないみたいという意味。若者の文化—⑭とも

## 4.1.1.10 オノマトペ—⑩

## (29) [オノマトペ] —日本語

- a. わちゃわちゃ: 数人でやかましくしゃべったり, 騒ぎながら楽しく話し合う様子の意味, 関西方言, ⑫転用—方言とも
- b. hshs: 非常に興奮した時の呼吸音を表す, 「ハースーハースー」→「ハスハス」→「hshs」, ③縮約・②表記の転換とも

## (30) [オノマトペ] —韓国語

- a. 뽀아악<sub>ベええっ</sub>: 大声を出す時のオノマトペで, 何かに対して論理的ではない抗議をする模様
- b. 앙<sub>アン</sub>~기모띠<sub>キモティ</sub>: 「気持ちいい」という日本語の表現から由来した表現。若者の文化—⑭集団文化とも

## 4.1.2 コンテキストの造語法

## 4.1.2.1 語呂合わせ—⑪

## (31) [語呂合わせ] —日本語

- a. ベッケンバウアー: 別件がある

## (32) [語呂合わせ] —韓国語

- a. 다크냐<sub>ダキュニヤ</sub>, 실화냐<sub>シルハニヤ</sub>, 맨큐냐<sub>メンキュニヤ</sub>?, 「真面目かよ」という意味。
- b. 동의<sub>ドンイ</sub>? 어오, 보감<sub>ボガム</sub>!: 韓国・朝鮮時代の有名な医学書である『東醫寶鑑<sub>ドンイボガム</sub>』をもじった語。「同意する? うん, 同意」という意味。

## 4.1.2.2 転用—⑫

## 4.1.2.2.1 ⑫転用—比喩

## (33) [転用—比喩] —日本語

- a. Bダッシュ: ゲームをプレーする時, コントローラーのBボタンを押すと主人公を走らせることから, 急ぐ人やその状況を描写する時に使用

## (34) [転用—比喩] —韓国語

- a. 영정 (影幀) 각<sub>ヨンジョンガク</sub>: 「영정<sub>ヨンジョン</sub>」は人の肖像画或いは葬儀に使われる肖像画・写真の意であるが, それをもって「終わった・死んだ」という意を表す。

## 4.1.2.2.2 ⑫転用—反語

## (35) [転用—反語] —日本語

- a. 鬼+〇〇: すごく良い, 元はひどい・悪いなどの意味であったが, 形容詞などに付いて反語的に「すごく〇〇」のようにも使われる。(13) cのように語構成という観点からは⑥付けたしとも  
e.g. 鬼美味しい: すごく美味しい

## (36) [転用—反語] —韓国語

- a. 지리다<sub>ジリダ</sub>: 大小便を堪えきれず漏らすという意味であるが, 反語的にそれほど良かった, すごいという意に転。同様な意味で「오시다<sub>オジダ</sub>」もある。

## 4.1.2.2.3 ⑫転用—方言

## (37) [転用—方言] —日本語

- a. ウザイ: 不愉快・わずらわしい・邪魔・目障りなど, 多摩方言, ③表記の転換とも

## (38) [転用—方言] —韓国語

- a. ~ㄴ: 終助詞「ㄴ」は韓半島の南にある全羅道地域の方言で, 韓国の盧武鉉前大統領 (16代) の苗字盧 (Noh) と同じ音であることで特定の地域の人々を貶すために使われる卑語。若者の文化—⑭の若者の文化—⑭集団文化とも。⑭若者の文化—⑭集団文

化とも。

稿者は判断する。

#### 4.1.2.2.4 ⑫転用—古語

(39) [転用—古語]—日本語

- a. いと：非常に、  
e.g. いとおかしい, いとうれしい  
b. こちこ：こちへいらっしゃい

#### 4.1.2.3 態度—⑬

##### 4.1.2.3.1 ⑬態度—曖昧

(40) [転用—曖昧]—日本語

- a. ～みたいな (あ)：美味しいみたいなあ。  
b. ～的：～のような, 「私的にはオッケー」「もしかして, お酒飲めない的な?」

(41) [転用—曖昧]—韓国語

- a. 느낌적인 느낌 ヌキムジョギン・ヌキム：「感じ的な感じ」という意味。

##### 4.1.2.3.2 ⑬態度—新敬語

(42) [態度—新しい敬語：～(っ)す]—日本語

- a. 申し訳ないっす：もうしわけないです。

##### 4.1.2.3.3 ⑬態度—誇張

先に⑥付けたしでも述べたが, 若者たちの言語生活のもう一つの特徴として, 誇張の表現の氾濫があげられる。⑫転用—方言の「めっちゃ・バリ」, ⑥付けたしの「激・超・ぎざ・鬼」など, つまりとても・ものすごく・相当などなど, 物事を誇張するという若者言葉が多く見られる。韓国語の若者の場合も, ⑫転用—反語の「오시다オジダ, 지리다ジリダ」のような誇張の表現の多用が目立つし, ⑥付けたしの「헉ヘク・개ゲ·쌈シッパ·꿀ケル」など, 接頭語を付けて同じく強く誇張する表現も多用している (e.g. 헉이득, 개이득など, 「超お得」の意)。本稿ではこのような流れによる造語法を⑬態度—誇張とする。これは一次的には誇張の意を持つ形容詞の不足にその原因を求められるが, 何よりノリを重視する若者たちの態度にその原因があると

#### 4.1.2.4 若者の文化—⑭

(43) [若者の文化—有名人]—日本語

- a. BIG LOVE：「とても好きで, 愛していて, そしてありがとう」という意味, 俳優中尾明慶と仲里依紗の夫婦, 有名人・ブログ,  
e.g. BIG LOOOOOVE

c. ヤグる：浮気する現場を相手にばれるの意, アイドル「モーニング娘」の元メンバー, 矢口真里 (やぐちまり+る) の不倫騒動で流行, 2013年ギャル流行語トップ10, ギャル語・有名人, ②表記の転換・③縮約・⑦派生—動詞派生とも

(44) [若者の文化—流行]—日本語

- a. オルチャン얼짱：美少女・美男子という意味の韓国語・얼짱, 韓流の影響で主に女性の間で多く使われる, ⑥言い換えとも

(45) [若者の文化—集団文化]—日本語

- a. ハニリイト：「FILES」の意味, 「みかか変換<sup>9</sup>」によるキーボード入力, パソ通用語, ②表記の転換—媒体の変化・技術依存とも

b. 홀홀：韓国語「헤헤」の読みで, 誤翻訳。日韓コミュニティのウェブサイトで韓国人が入力した「헤헤」が自動翻訳によって「ホルホル」と誤翻訳されて生まれた言葉。その後, 偉そうに威張る人に対して使われる。ネット用語, ⑥言い換え

(46) [若者の文化—有名人]—韓国語

- a. 1도 모르다イルド・モルダ：「하나ハナ (一の意味)도 모르다」の一を数字1に替えたもので, 歌手・スーパージュニアMのメンバーである「ヘンリ」が使用して流行りだした言葉。②表記の転換—文字とも。

(47) [若者の文化—流行]—韓国語

- a. 흑역사フクヨクサ (黒歴史)：日本語の「黒歴史」の直訳語で, 日本文化に関心が多い人々によってネットを中心に使われて広まった語。

b. 닝겐<sup>ニンゲン</sup> (人間) : 日本語の「人間」を発音そのまま取り入れた語で、日本文化に関心が多い人々によってネットを中心に使われて広まった語。「過ちを繰り返す人」或いは「普通の人」という意味。한본어<sup>韓本語</sup> (韓国語+日本語) とも言われる。

(48) [若者の文化—集団文化] —韓国語

a. 듀나<sup>ジュニャ</sup> : 韓国の教育放送局である「EBS i」の韓国語版「みかか変換」。受験生を中心に使われる。②表記の転換—媒体の変化・技術依存とも

b. 머글<sup>マグル</sup> : 小説『ハリーポッター』の作中で「普通の人間」をさす言葉で、小説の愛読者の間で使われて広まった語。⑭若者の文化—有名人とも。

## 5. おわりに

本稿では先行研究を踏まえて「若者言葉は10代後半から30代前後の若者で構成された集団によって流行り出した言葉」と定義し、若者言葉はその内容となる「コンテキスト」と形式である「語構成」が「媒体」による影響を受けながら「不透明性」を高めることで造語される点を明らかにした。また「書き言葉」と「話し言葉」の特徴を持ち合わせている「打ち言葉」という概念を導入して媒体と技術依存的な若者言葉の特徴を明らかにした。最後に、音節文字である日本語と単音文字である韓国語の表記面における差によって、両言語の若者言葉における差が見られる点も明らかにしたが、それを踏まえて両言語における若者言葉の造語法の特徴を分類してまとめると(49)のようになる。

(49) [若者言葉の造語法]

a. 語構成の造語法

- ① 音の転換, ② 表記の転換 — 1) 文字,
- 2) 媒体の変化・技術依存
- ③ 縮約, ④ 拡張, ⑤ 再配列, ⑥ 付けたし,

⑦ 派生 — 1) 動詞派生, 2) 形容詞派生

⑧ 段階・繰り返し, ⑨ 言い換え, ⑩ オノマトペ

b. コンテキストの造語法

⑪ 語呂合わせ, ⑫ 転用 — 1) 比喩, 2) 反語, 3) 方言, 4) 古語

⑬ 態度 — 1) 曖昧, 2) 新敬語, 3) 誇張

⑭ 若者の文化 — 1) 有名人, 2) 流行, 3) 集団文化

## 注

- 1 あか : 赤。早稲田大学の近辺にある飲食店「レッドピーマン」の別称。e.g. 「赤いく?」『早稲田大学キャンパス言葉辞典』の「あ行」より。
- 2 ロールキャベツ : 外見はまるで草食系のように見えるが実際の本性は肉食系である人を例えている。
- 3 핑거 프린세스<sup>フィンガー・プリンセス</sup> : 自分で調べずに、人にばかり聞く人を指す。
- 4 인정 (認定) <sup>インジョン</sup> という言葉の子音のみを取り出した「ロス」で、「認定・認める」という意を表す。その造語法は日本語の「w=笑」に似ている。
- 5 元の語形や意味が復元しにくいということは、隠語性がたかいということであり、そのこと自体は若者からすると他集団から理解されにくいことを逆楽しんでいることもあり...中略...若者ことばの本質的な特徴とも言える.....。桑本 (2013 : 69)
- 6 若者言葉の多様な造語法を区分し、本稿においてそれを相互参照を容易にするために造語法に任意の丸数字番号を付することにする。e.g. ①音の転換, ②表意の転換, ③縮約など
- 7 子音で終わる音節に母音で始まる形態素が続く場合、前の子音部の音が後に移動して発音される現象 e.g. 책-+-이 → [채기]
- 8 特定の音韻が単語の発音節にくるのを避けて変化する音韻現象 e.g. 녀자 (女子) → 여자 c.f 남녀 (男女)
- 9 パソ通用語で「NTT (日本電信電話)」を指す言葉。日本語のキーボードのかな入力モードで「N」「T」「T」とタイプすると「み」「か」「か」と入力される事から由来。

## 参考文献・テキスト

井上史雄 (1988) 「若者語」『日本語百科大事典』金田一春彦他, 大修館, pp.562-569.

- 井上史雄 (1994) 『方言学の新天地』 明治著書, pp.1-259.
- 井上俊輔・中元祐司・原田知典 (2008) 「コンテクストにゆれる日本：若者言葉から見る日本人の現状」『早稲田社会科学総合研究, 別冊, 2008年度学生論文集』 早稲田大学社会科学学会, pp.223-232.
- 井上逸兵 (2006) 「ネット社会の若者ことば (特集 若者ことば大研究--変容するコミュニケーション環境の中で)」『月刊言語』 35-3, 大修館書店, pp.60-67.
- 川崎洋 (1981) 『流行語』 毎日新聞社, pp.1-246.
- 朽方修一 (2013) 「キャラクターと文法—『NARUTO』に現れる提題表現「ってば」について」『Japanisch als Fremdsprache』 Vol.3, Japanisch an Hochschulen e. V., pp.59-75.
- 倉持益子 (2009) 「新敬語「ス」の使用場面の拡大と機能の変化」『明海日本語』 第14号, 明海大学・日本語学科, pp.25-35.
- 桑本裕二 (2003) 「若者ことばの発生と定着について」『秋田工業高等専門学校研究紀要』 第38号, 秋田工業高等専門学校, pp.113-120.
- 桑本裕二 (2013) 「若者ことばにおける曖昧表現の形態および意味構造の変異について—テレビドラマのデータベースの通時研究への利用を目指して」『秋田工業高等専門学校研究紀要』 第49号, 秋田工業高等専門学校, pp.68-75.
- 小矢野哲夫 (1990) 「若いモンのことば「現代語」『国語展望』 84, 尚学図書, pp.2-6.
- 小矢野哲夫 (1994) 「女子大学生のキャンパスことば」『日本語学』 10月号 (特集: 若い女性のことば), 明治書院, pp.45-53.
- 小矢野哲夫 (2006) 「若者語は集団語か」『日本語学』 25 (10, 特集: ネット社会の集団語), 明治書院, pp.14-24.
- 小矢野哲夫 (2007) 「若者ことばと日本語教育」『日本語教育』 134, 大阪外国語大学, pp.38-47.
- 鈴木睦 (2010) 「変わりゆく日本語と日本語教育の今」『Journal CAJLE』 Vol.11, カナダ日本語教育振興会, pp.10-22.
- 瀬沼文彰 (2005) 「若者ことばをフィールドワークする」『コミュニケーション科学』 (22), 東京経済大学, pp.295-323.
- 中村功 (2005) 「携帯メールのコミュニケーション内容と若者の孤独恐怖」『メディア』 橋元良明編, ひつじ書房, pp.1-264.
- 原田幸一 (2013) 「一橋大学キャンパスことば調査」『一橋大学国際教育センター紀要』 (4), 一橋大学国際教育センター, pp.109-121.
- 林千賀 (2007) 「ブログからみえる若者言葉の『ってば』: 社会言語学的研究への示唆」『国際文化研究所紀要』 12, 城西国際大学, pp.75-90.
- 福原裕一 (2013) 「「～みたいな」表現の分析」『国際文化研究』 19, 東北大学国際文化学会, pp.101-116.
- 方韻 (2013) 「若者ことばにみる特徴的表現の一考察」『日本学刊』 第16号, 香港日本語教育研究会, pp.136-144.
- 洞澤伸・村瀬仁美 (2014) 「若者言葉「フツーに」と「フツー (だ)」が表す程度の相違について」『岐阜大学地域科学部研究報告』 (35), pp.25-41.
- 村田和代 (2005) 「ポライトネスから見る若者ことばの機能: 龍谷大学キャンパス語の分析を通して」『龍谷大学国際センター研究年報』 14, 龍谷大学, pp.25-37.
- 松田謙次郎 (2006) 「ネット社会と集団語 (特集 ネット社会の集団語)」『日本語学』 25 (10), 明治書院, pp.25-35.
- 米川明彦 (1996) 『現代若者ことば考』 丸善ライブラリー, pp.1-242.
- 米川明彦 (1998) 『若者語を科学する』 明治書院, pp.1-66.
- 米川明彦 (2000a) 「集団語に見ることば遊び」『日本語学』 19-1, 明治書院, pp.54-64.
- 米川明彦 (2000b) 『集団語辞典』 東京堂出版, pp.1-853.
- 米川明彦 (2009) 『集団語の研究 上巻』 東京堂出版, pp.1-672. 17.
- 金晴泳 (2015) 「現代日本語の若者言葉の構造と造語法による分類」『日語日文学研究』 Vol.95-1 韓国日語日文学会, pp.89-114.